

## 夢洲調査報告 20190729（昆虫 2 回目）

公益社団法人 大阪自然環境保全協会 生物多様性委員会

10 時 20 分～14 時 20 分 天気：晴れ 気温：36 度

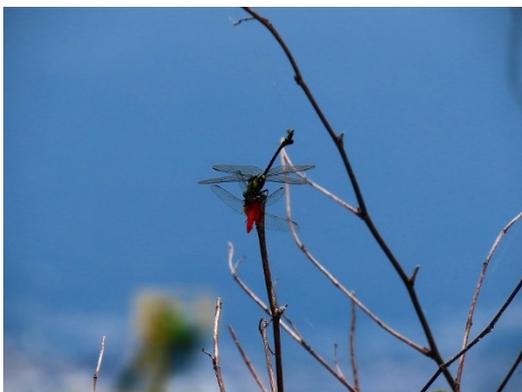
ルート：1 区と 3 区の間の尾根道、および 2 区干潟の周辺



大変暑い日だった。午前中、1 区と 3 区の間の尾根道から北岸へ。大阪府市 IR 推進室が案内する団体の視察が入っていて、私たちの車の後ろを移動していたため、最初ゆっくり調査できなかった。北岸につき、ルートがバッティングしないよう確認して、またその尾根道にもどったが、どんどん温度も上がってきたためか、朝ほどトンボやバッタが飛ばなくなってしまった。

気温の上昇が激しく、体温をあげないように逆立ちするトンボ、草陰にじっとしているトンボもみられ、この 1 時間の差で、これだけ昆虫が影をひそめるのか、と驚いた。

しかし、タイワンウチワヤンマがさかんに他のトンボを捕食している風景が見られ、また、夢洲で初めてクマゼミを鳴き声・姿とも確認することができた。





昼からは、南岸付近の草むらを中心に調査をした。とくに、3区カジノ用地の土砂投入工事が進んでいるせいか、カルガモなどがたくさん2区の干潟に移動していた。しかし、3区の池でも、トラックが土砂を運ぶすぐ近くに、まだ水鳥がおよぎ、ミサゴが止まって見物している。



2区万博用地の干潟には、たくさんのカルガモとともに、シギ・チドリ類も多く見られた。7月9日ほどトンボやバッタは多くは見られなかったが、1, 2時間の捕獲で多くの種が確認できた。確認できた種は以下の通り。

---

昆虫：33種

【トンボ】 タイワンウチワヤンマ、ギンヤンマ（クロスジギンヤンマの可能性高い）、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、チョウトンボ、ウスバキトンボ【チョウ】 ナミアゲハ、キアゲハ、アオスジアゲハ、モンシロチョウ、シジミチョウ sp【バッタ】 トノサマバッタ、クルマバッタモドキ、マダラバッタ、ショウリョウバッタ、エンマコオロギ、トゲヒシバッタ、ツチイナゴ（幼虫）【甲虫類】 ナナホシテントウ、ナミテントウ、ハイイロゲンゴロウ、シロテンハナムグリ sp、コハンミョウ（下左）【カメムシ類】 アカスジカメムシ、オオホシカメムシ、ウズラカメムシ、水性カメムシ類（コミズムシの仲間）【ほか】 ハマベアワフキ、クマゼミ、フタモンアシナガバチ、アメリカジガバチ、シオヤアブ、チョウセンカマキリ  
クモ類：オニグモ(下中)、コガネグモ、ナガコガネグモ、アシナガグモ、ハヤズハエトリ  
野鳥：ミサゴ、チョウゲンボウ、トビ、カルガモ、カワウ、ウミネコ、オオバン、カイツブリ、キンクロハジロ、アオサギ、ダイサギ、キョウジョシギ、ハマシギ、シロチドリ、コチドリ、イカルチドリ（?）、ツバメ、スズメ、ハシボソガラス、ドバト、ハクセキレイ、セッカ  
植物：タカサゴユリ、ビロウドモウズイカ（上左）、ヤノネボンテンカ（タカサゴフヨウ）花(上右)、オオマツヨイグサ(花)が盛り（下右）



調査&写真：福田雄一・松下宏幸・岡本晋弥・磯上慶子・加賀まゆみ